

2025春闘勝利に向け全力で奮闘しよう!

新賃金引上げ(ベア17,000円)及び労働条件改善要求(49項目)を申し入れる



本部は2月13日、貨物会社に対し「2025年度の賃金引上げに関する申し入れ」(国労闘申第9号)、別途、労働協約(労働条件部分)の一部見直し31項目(国労闘申第10号)。労働条件改善要求18項目(国労闘申第11号)計49項目の申し入れを行った。

この間、貨物会社では「ベア」の実施や賃金改善措置が行われてきたが、要求額とは大きく乖離し、社員と家族の生活改善に値するものとはなっていない。物価高騰が続く今日、社員と家族の生活は厳しさが増すばかりであり、この間のベア抑制や期末手当での低額回答が生活苦に拍車をかけている。コロナ禍からの回復が遅れている貨物会社ではあるが、長期経営計画における4,000億円を超える膨大な設備投資に変更はない。相次ぐ合理化・効率化で、徹底した社員犠牲の経営が続けられているが、日々奮闘する社員に対する投資を行うことで、物価高騰で苦しい生活を強いられている現状を改善しなければならない。25春闘で大幅賃上げを勝ち取ろう!



急激な物価高騰で日々の生活は苦しさが増すばかり!!

貨物会社に働く社員の生活実態は、毎年国労が実施している「生活実態アンケート調査」に基づけば「毎月の赤字額」が平均36,000円となっており、生要求額は59歳以下30,878円、60歳以上37,826円、要求額平均では32,663円となっている。「要求額の根拠」は「生活向上資金」、「赤字の補填」、「病気・老後の備え」とする回答が大半を占め、「現在の生活程度」については、「不満足」「やや不満足」との回答は47.9%となっており、貨物会社社員の厳しい生活実態が明らかとなっている。



要求獲得に向け全ての職場から闘いに決起しよう!

第1回賃金交渉は 2月21日を予定している